

日本児童英語教育学会(JASTEC)第36回秋季研究大会
2016年10月23日@大阪成蹊大学

『小学生の英語学習に関する調査』結果から 見る外国語活動の教科化に向けた課題

長沼 君主(東海大学)
酒井 英樹(信州大学)
加藤 由美子(ベネッセ教育総合研究所)
福本 優美子(ベネッセ教育総合研究所)

本発表の概要

1. 研究の背景

- 次期学習指導要領では、これまでの小学校高学年での外国語活動が教科化され、中学年から活動が開始される方向で議論が進められている。現在の活動型の授業ではどのような力や情意的態度が付き、教科化に向けてどのような課題が残されているのであろうか。

2. 研究の目的

- 調査の方法と時期
- 調査企画・分析メンバー
- 調査の対象者

3. 分析結果

4. まとめと示唆

研究の目的

本研究は、ベネッセ教育総合研究所が実施した「**小学生の英語学習に関する調査**」(ベネッセ教育総合研究所, 2015, 11月:リリースペーパー)をさらに詳細に分析し、**情意面**及び**能力面**(Can-DOリストによる自己評価)の実態と、**開始学年**、**指導形態**、**活動内容**等のそれらに及ぼす**影響**を考察し、その結果を報告するものである。

調査概要

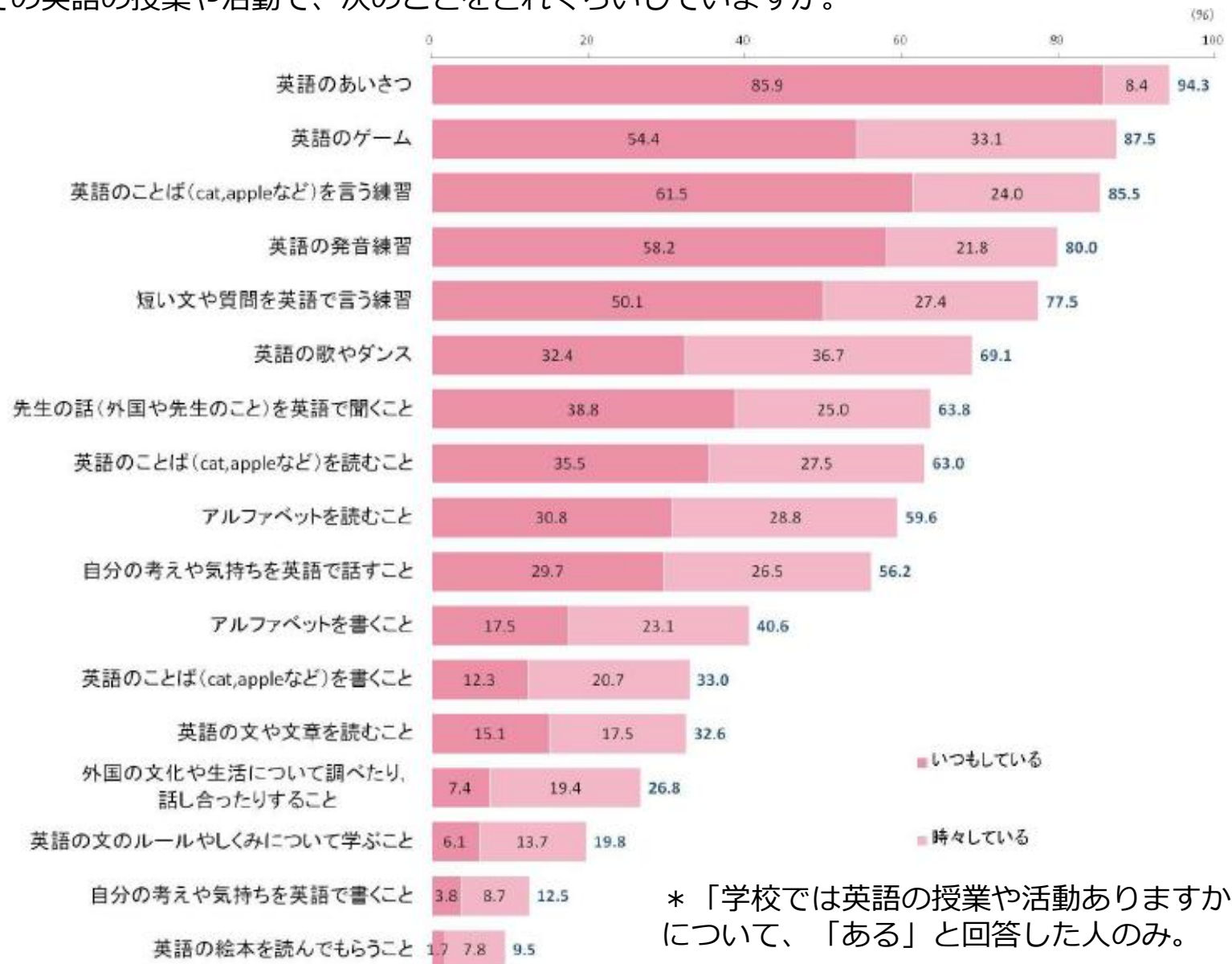
- 郵送法による自記式質問紙調査
- 2015年3月に実施
- 全国の小学5年生、6年生とその保護者 1,565組
 - * 東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所
共同研究「子どもの生活と学び」研究PJの調査モニター
- 調査項目
 - ベネッセ教育総合研究所 HP
 - >グローバル教育研究室 >調査・研究データ>小学生の英語学習に関する調査 にて公開中

調査企画・分析メンバー

- 吉田 研作(上智大学教授)
- 酒井 英樹(信州大学教授)
- 長沼 君主(東海大学准教授)
- 金子 真理子(東京学芸大学准教授)
- 木村 治生(ベネッセ教育総合研究所副所長、東京大学客員准教授)
- 加藤 由美子(ベネッセ教育総合研究所主任研究員)
- 福本 優美子(ベネッセ教育総合研究所研究員)

基本統計(活動内容)

Q: 学校での英語の授業や活動で、次のことをどれくらいしていますか。

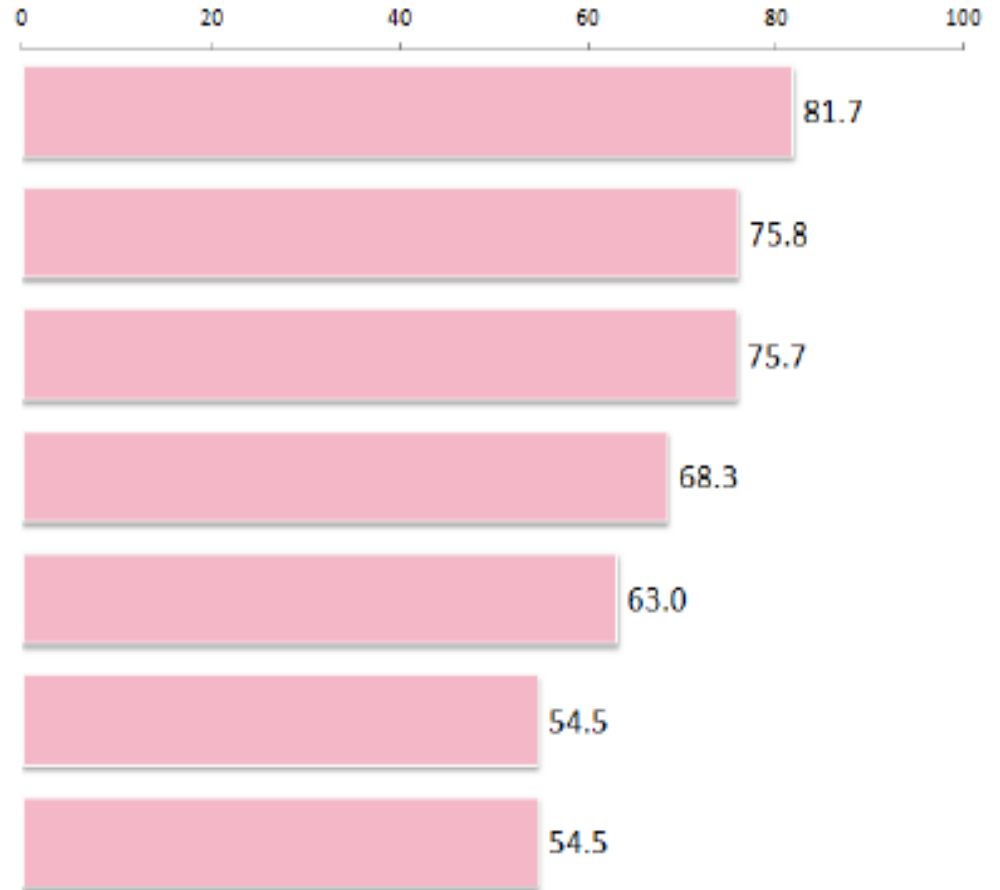


* 「学校では英語の授業や活動ありますか」について、「ある」と回答した人のみ。

基本統計(関心・意欲・態度)

Q：学校の英語の授業や活動では、次のようなことはあてはまりますか。

(%)

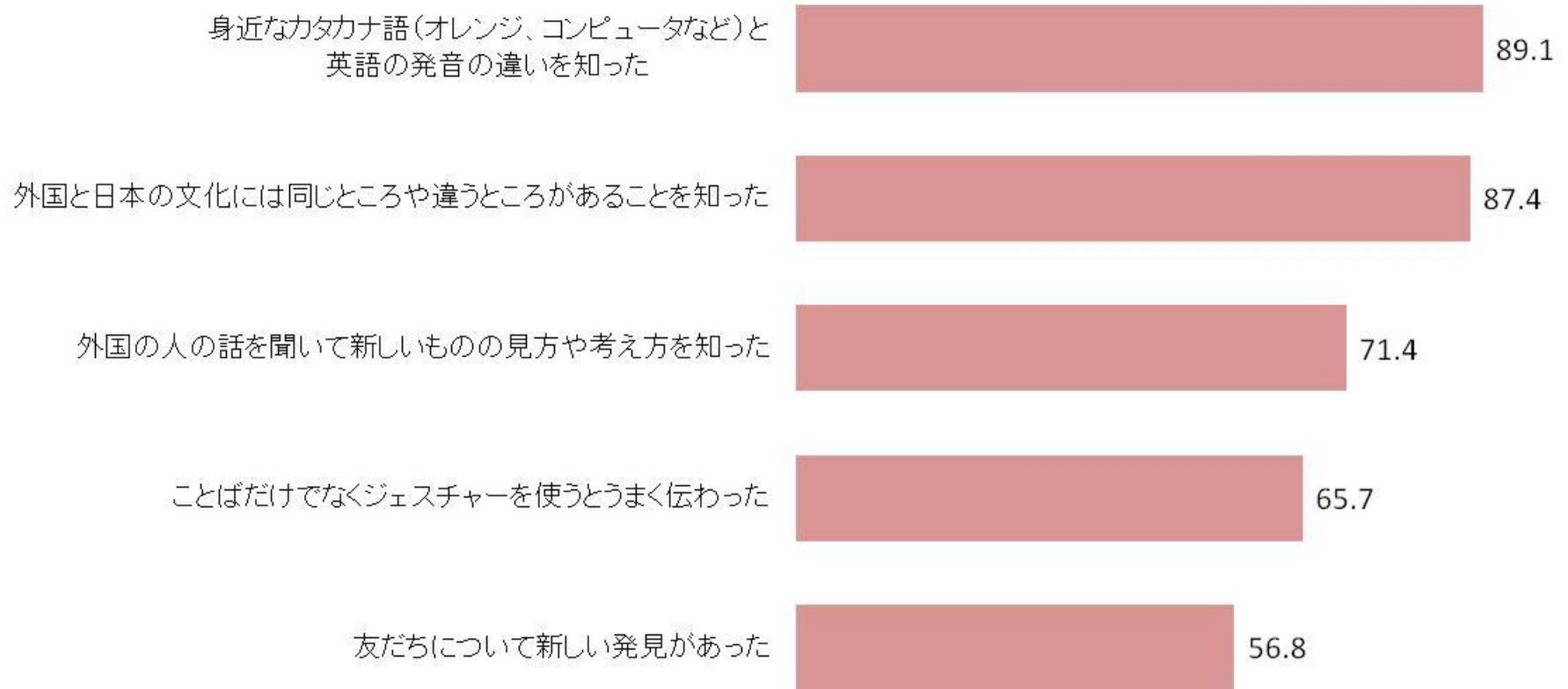


* 「とても+まあそう」の%。

* 「学校では英語の授業や活動ありますか」について、「ある」と回答した人のみ。

基本統計(言葉・文化への気づき)

Q: 学校の英語の授業や活動で、次のようなことはありましたか。

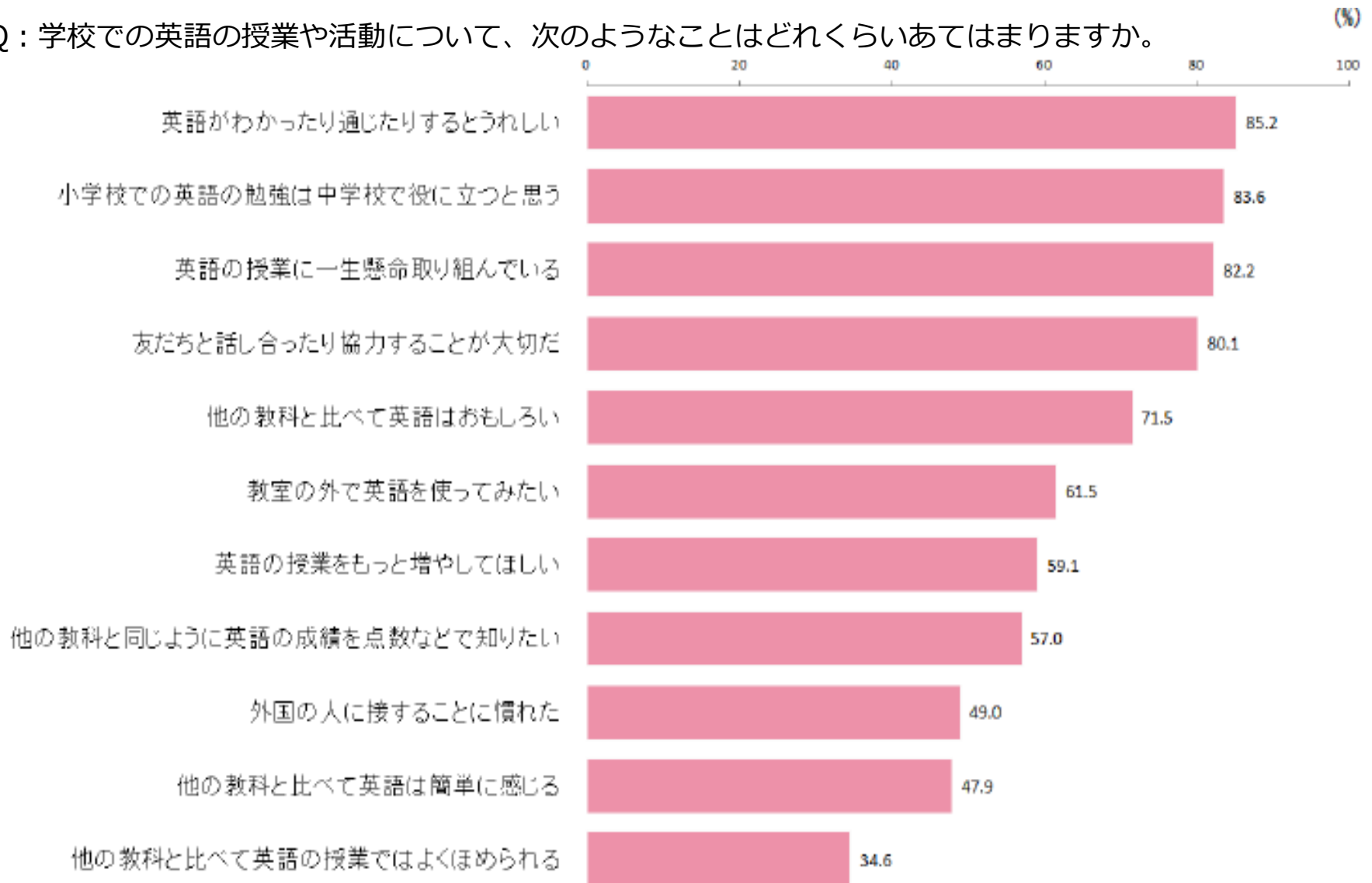


* 「あった」の%。

* 「学校では英語の授業や活動ありますか」について、「ある」と回答した人のみ。

基本統計(学習意識)

Q: 学校での英語の授業や活動について、次のようなことはどれくらいあてはまりますか。

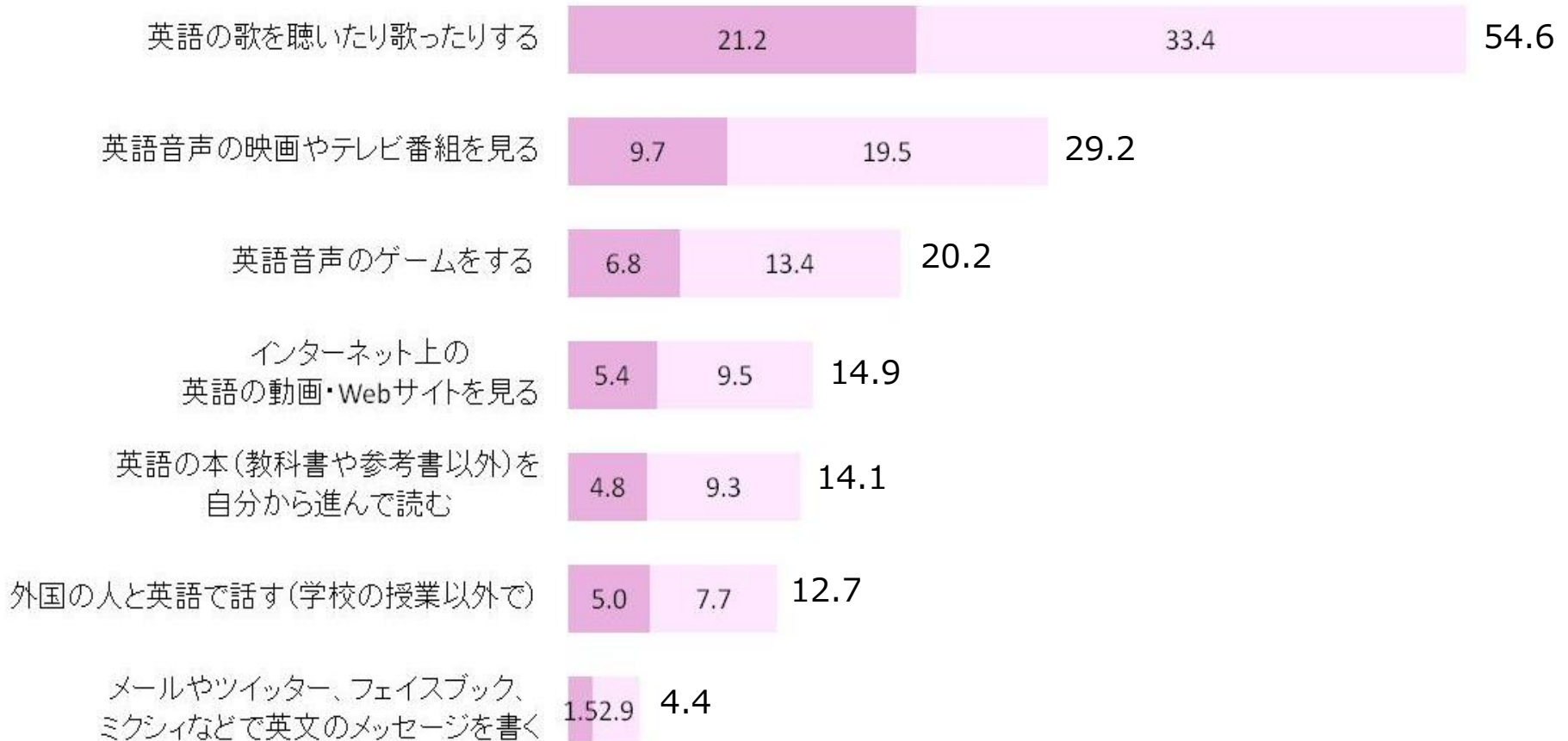


* 「とても+まああてはまる」の%。

* 「学校では英語の授業や活動ありますか」について、「ある」と回答した人のみ。

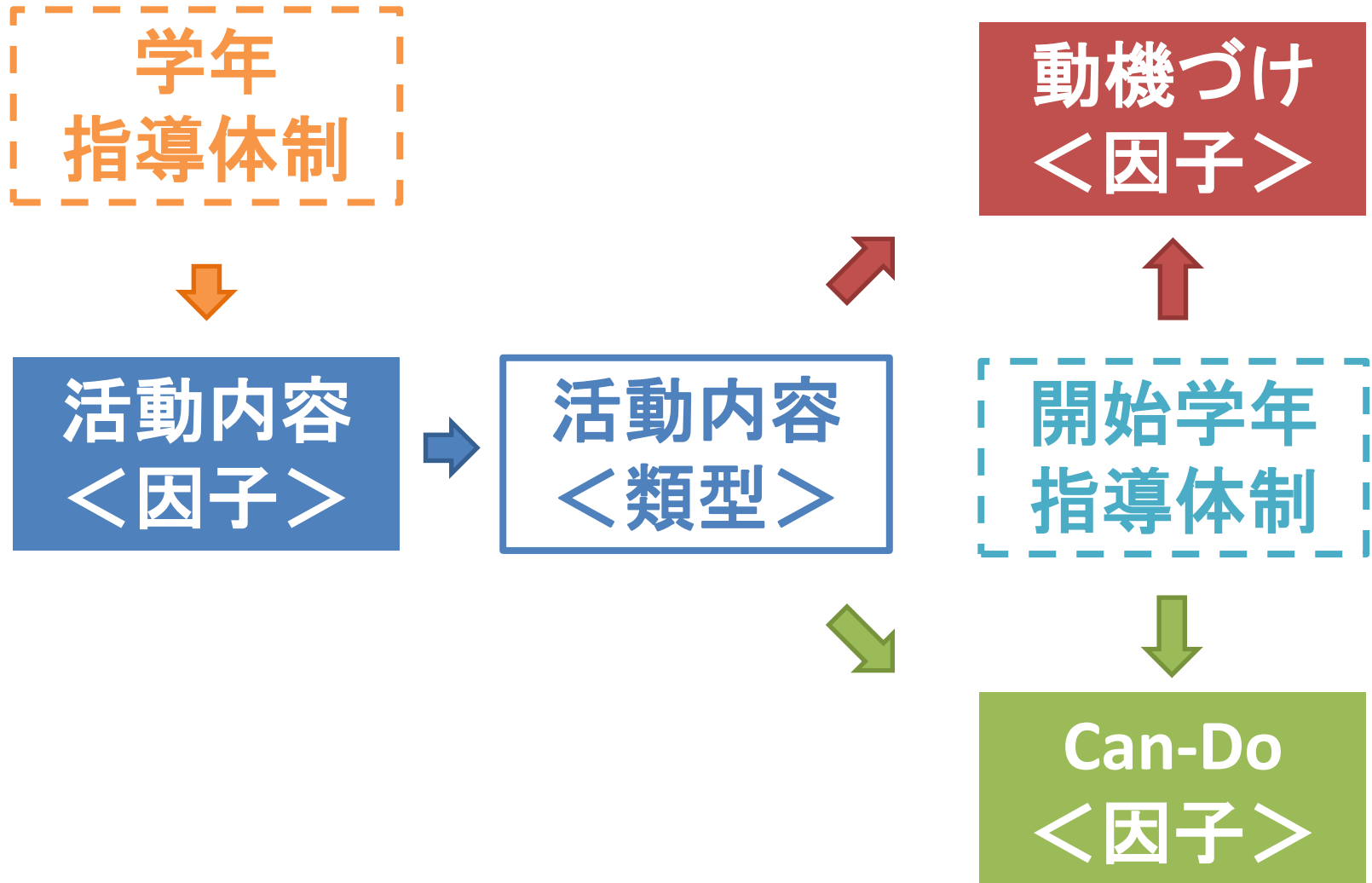
基本統計(日常経験)

Q: 現在、普段の生活で、英語に触れることはどれくらいありますか。



* 「よく + ときどきある」の%。

分析概要



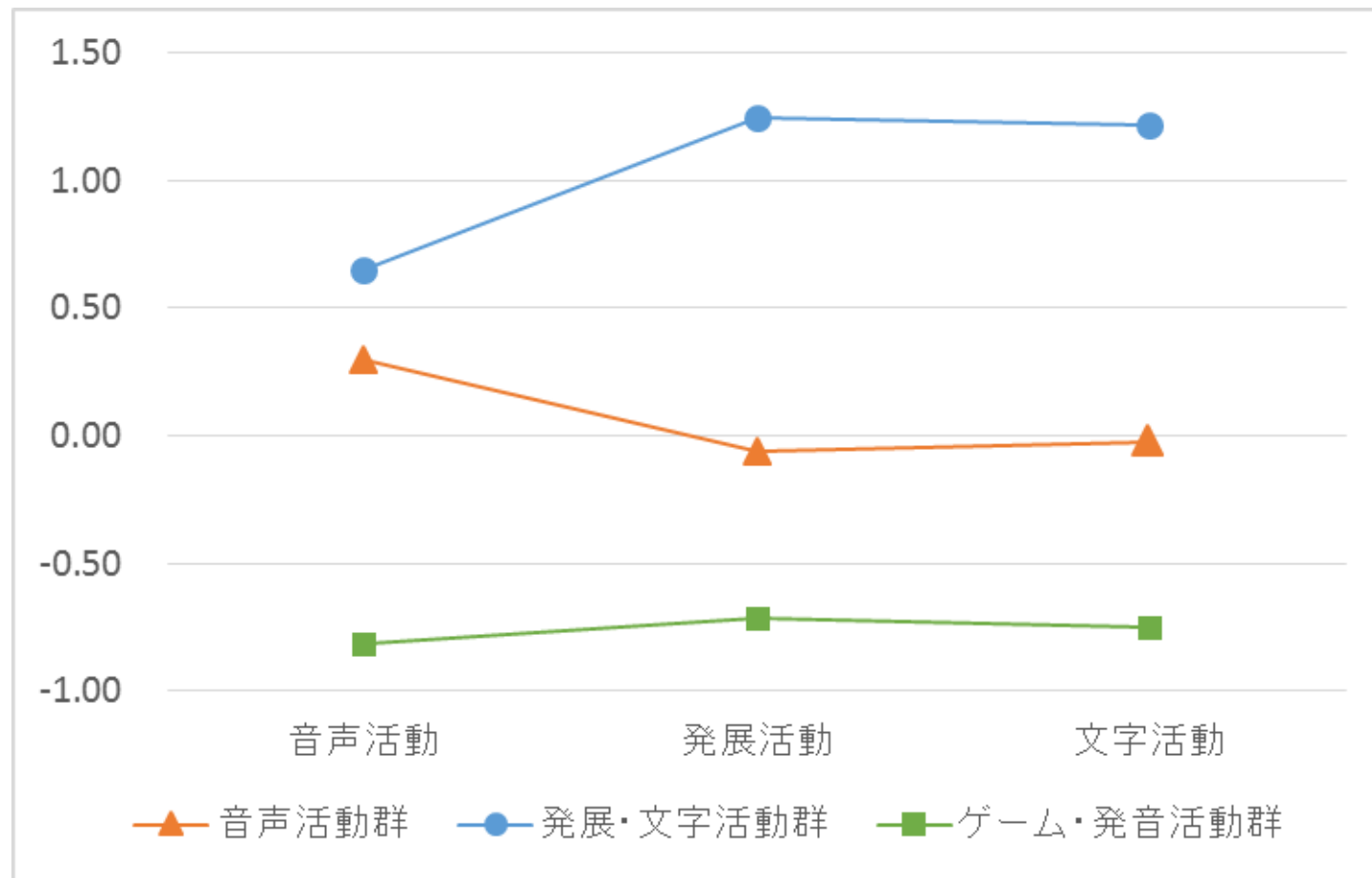
活動内容因子分析結果

	音声活動	発展活動	文字活動
英語のことばを言う練習	.662	-.122	.112
短い文や質問を英語で言う練習	.641	.044	-.034
英語のあいさつ	.535	-.081	.023
英語の発音練習	.534	-.060	.045
英語のゲーム	.511	.019	-.053
自分の考えや気持ちを英語で話すこと	.467	.273	-.156
先生の話や英語で聞くこと	.419	.089	-.001
英語の歌やダンス	.294	.037	.040
自分の考えや気持ちを英語で書くこと	-.116	.851	-.038
英語の文のルールやしきみについて学ぶこと	.027	.620	.002
英語の文や文章を読むこと	.098	.563	.083
外国の文化や生活を調べたり, 話し合ったりすること	.107	.423	.016
英語の絵本を読んでもらうこと	-.020	.250	.106
アルファベットを書くこと	-.124	.006	.901
アルファベットを読むこと	.153	-.068	.664
英語のことばを書くこと	-.090	.300	.610
英語のことばを読むこと	.256	.100	.373

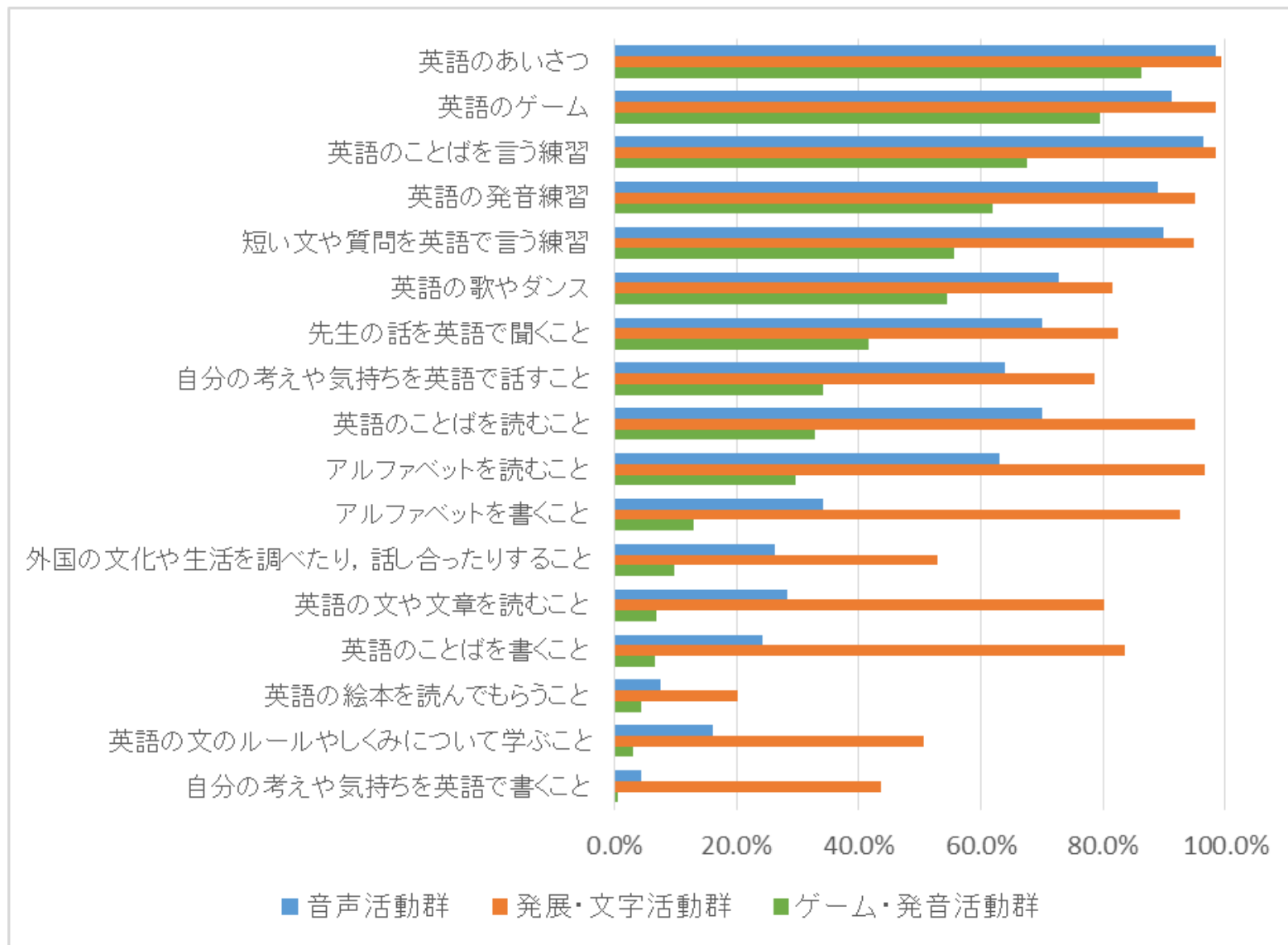
	F1	F2	F3
F1	-		
F2	.373	-	
F3	.269	.584	-

プロマックス回転、最尤法、説明率37.0%

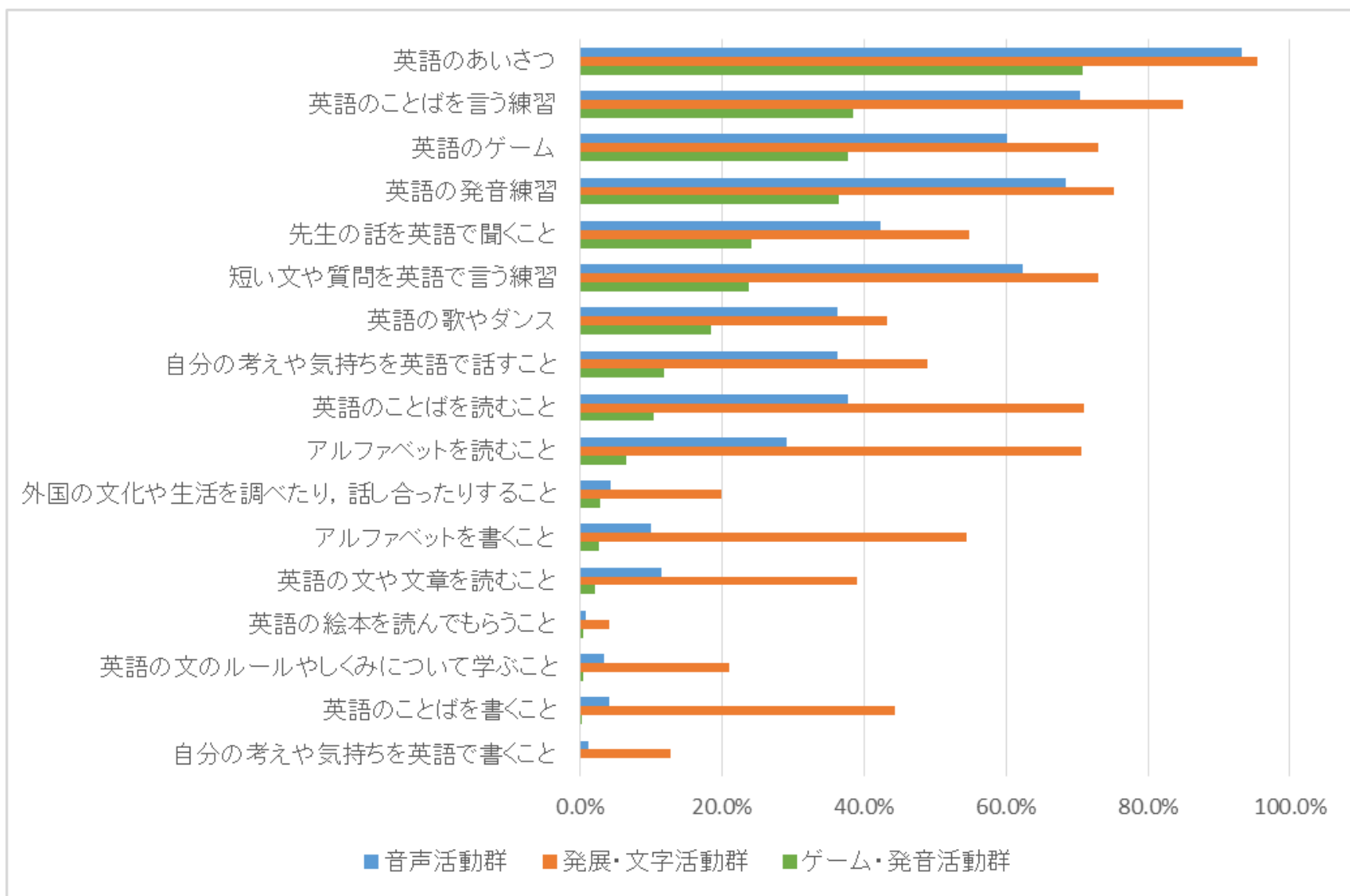
活動内容クラスター分析結果



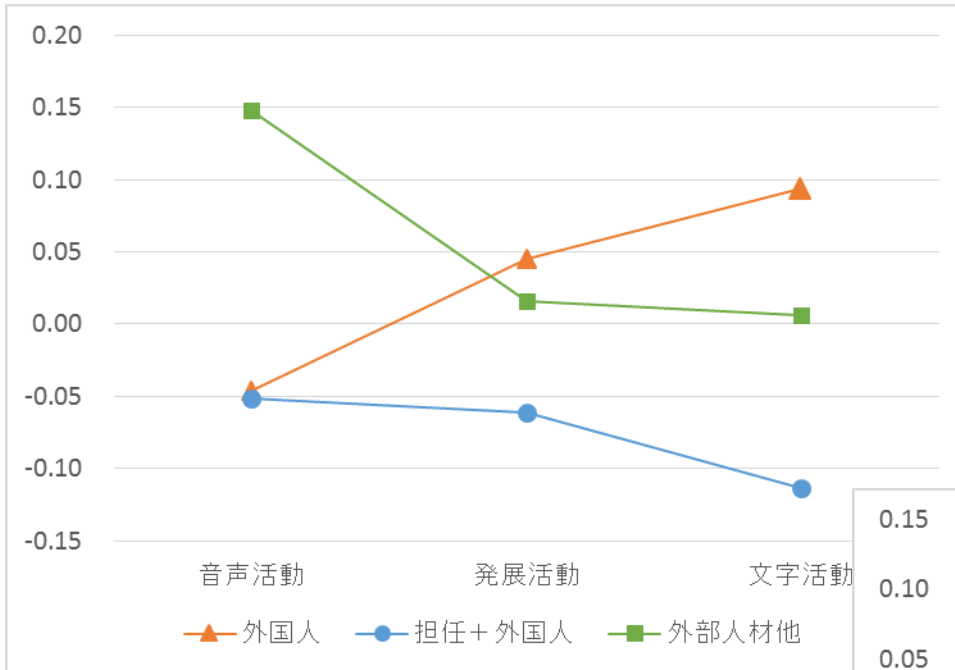
活動内容群活動経験率(いつも十時々)



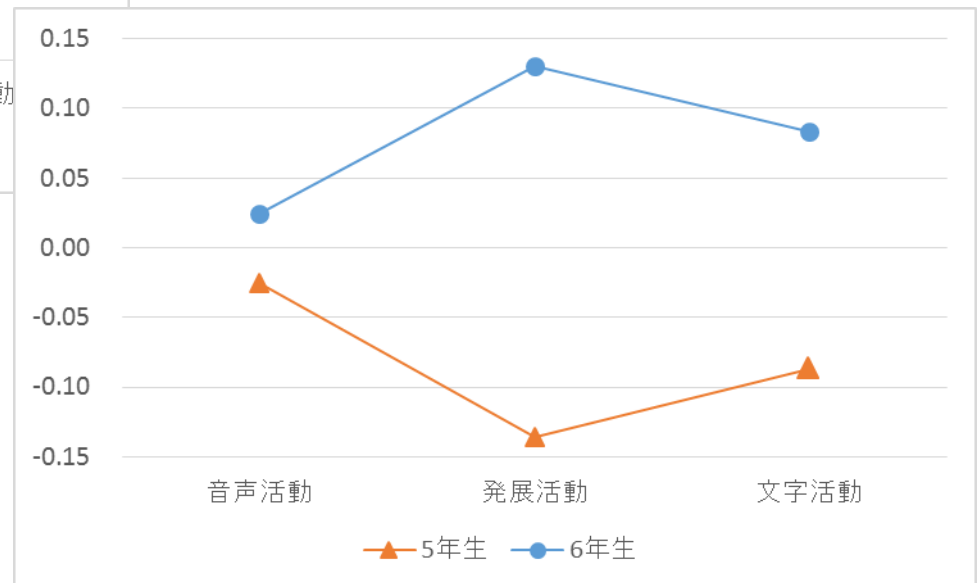
活動内容群活動経験率(いつも)



活動内容 × 指導内容 × 学年分散分析結果



活動内容	n. s.
指導体制	*
学年	***
活動内容 × 指導体制	***
活動内容 × 学年	***
学童内容 × 指導体制 × 学年	n. s.

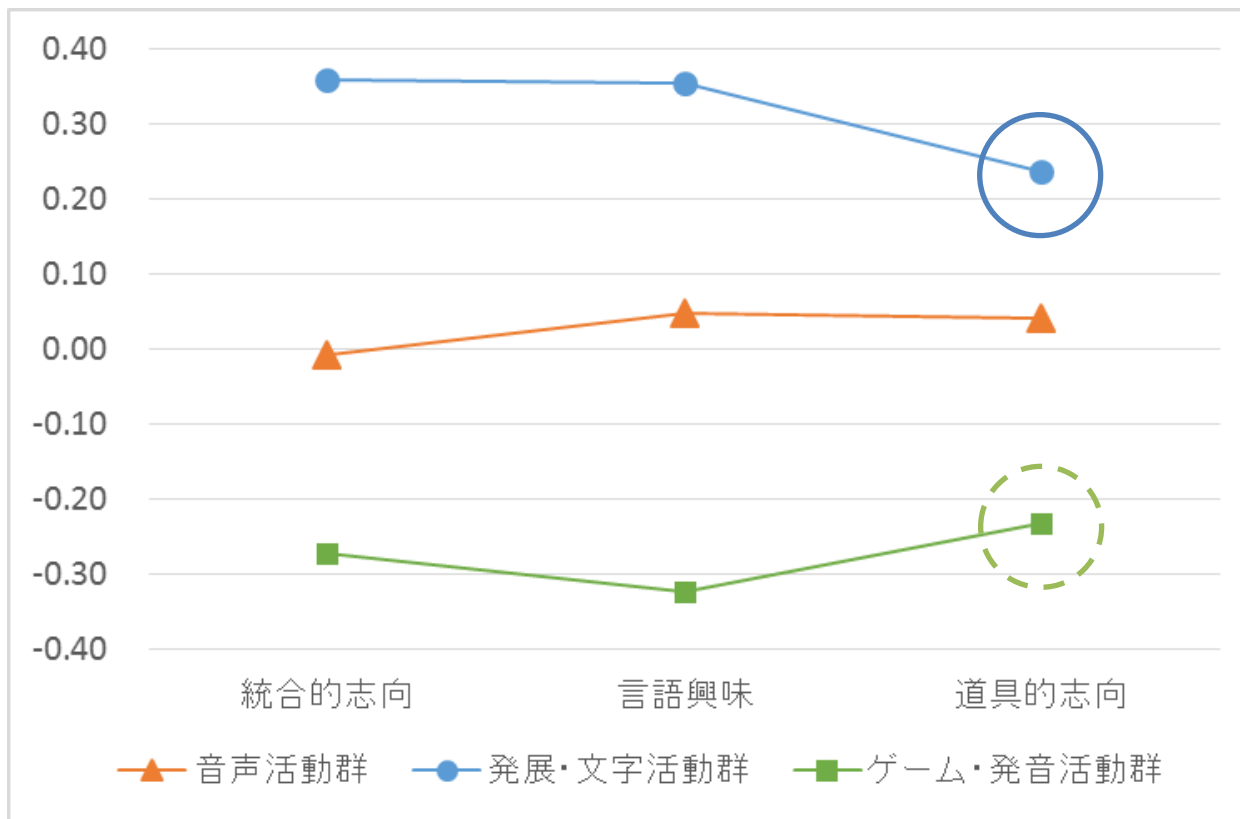


動機づけ因子分析結果

	統合志向	言語興味	道具志向
世界で活躍できる人になりたい	.841	-.194	.004
2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは英語で外国の人を「おもてなし」したい	.809	-.033	-.109
外国の高校や大学に留学したい	.720	-.102	.010
英語を使って仕事をしたい	.711	-.023	.083
日本の文化を外国の人に紹介したい	.612	.155	-.035
スポーツ選手や英語を使っている大人を見ると自分も英語をがんばろうと思う	.511	.243	.045
外国の文化やスポーツに興味がある	.467	.223	-.029
外国の人と友だちになりたい	.436	.356	.022
海外旅行に行きたい	.404	.077	.051
英語の音やリズムがおもしろい	-.019	.807	-.098
英語の文のつくりやしきみがおもしろい	-.041	.768	-.030
中学校で英語を学ぶことが楽しみだ	.177	.572	.042
英語が話せたらカッコいい	.025	.470	.247
通訳や字幕などがあるから英語を学習する必要はない	.123	-.178	-.151
高校や大学に入りやすい	.005	-.137	.898
英語ができると就職に役立つ	.062	-.010	.718
英語のテストでいい点を取りたい	-.051	.310	.486

プロマックス回転、最尤法、説明率47.4%

活動類型 × 動機づけ他分散分析結果



動機づけ	n. s.
活動類型	***
指導体制	n. s.
動機づけ × 活動類型	**
動機づけ × 指導体制	n. s.
活動類型 × 指導体制	n. s.
動機づけ × 活動類型 × 指導体制	n. s.

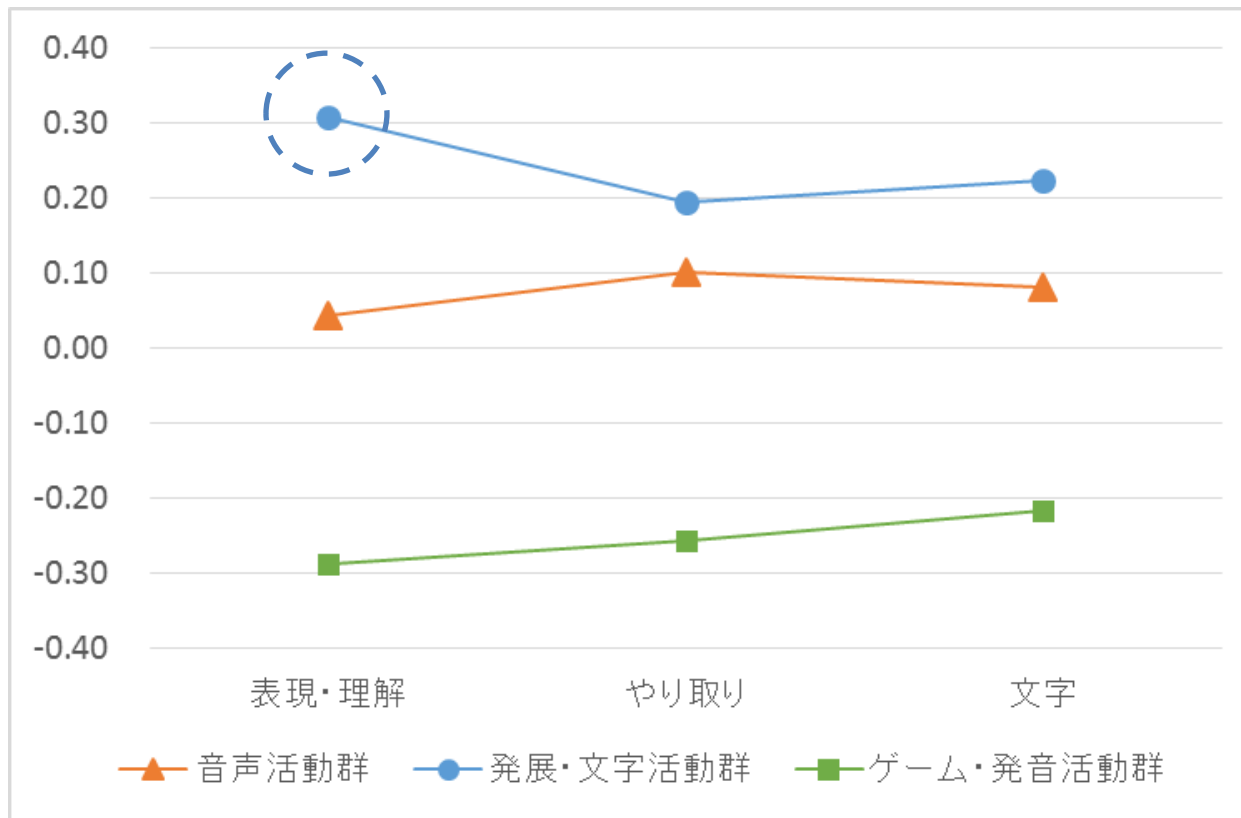
動機づけ	n. s.
活動類型	***
開始学年	n. s.
動機づけ × 活動類型	**
動機づけ × 開始学年	n. s.
活動類型 × 指導体制	n. s.
動機づけ × 活動類型 × 開始学年	n. s.

Can-Doリスト因子分析結果

	表現・活動	やり取り	文字
気持ちや考えをあらわす短い文を英語で書ける	.837	-.112	-.067
少し長めの文章やストーリーを読める	.812	-.142	-.055
簡単な短い文を読んで意味がわかる	.654	.029	.107
読んでもらった英語の絵本の内容がだいたいわかる	.570	.094	-.048
英語のことばを見本なしでいくつか書ける	.537	-.115	.349
先生が英語で話した内容を理解できる	.528	.212	-.096
気持ちや考えをあらわす短い文を英語で言える	.464	.281	-.016
英語の簡単な質問に答えられる	-.103	.842	.035
英語で簡単な質問ができる	.102	.772	-.054
英語のあいさつができる	-.061	.473	.020
英語のことばをいくつか言える	-.041	.367	.321
先生の英語の指示を聞いて動ける	.304	.335	.011
アルファベットをだいたい見本なしで書ける	.018	-.063	.791
アルファベットをだいたい読める	-.146	.061	.749
英語のことばを読んでいくつか意味がわかる	.164	.149	.465

プロマックス回転、最尤法、説明率46.8%

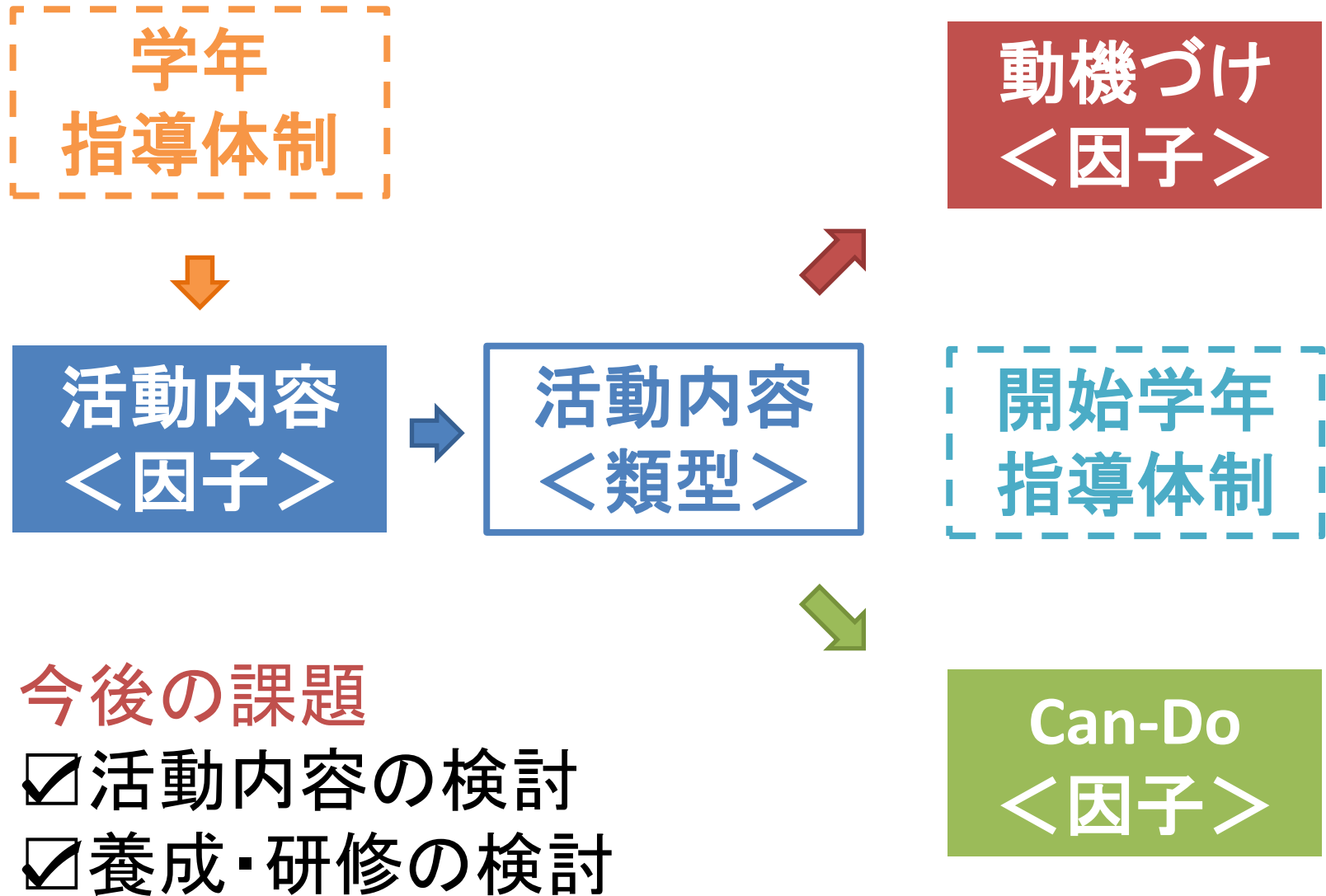
活動類型 × Can-Do他分散分析結果



Can-Do	n. s.
活動類型	***
指導体制	*
Can-Do × 活動類型	**
Can-Do × 指導体制	n. s.
活動類型 × 指導体制	**
Can-Do × 活動類型 × 指導体制	n. s.

Can-Do	n. s.
活動類型	***
開始学年	n. s.
Can-Do × 活動類型	*
Can-Do × 開始学年	n. s.
活動類型 × 指導体制	+
Can-Do × 活動類型 × 開始学年	n. s.

分析結果まとめ



詳しい資料は・・・

Benesse® [Benesseトップページ](#) [Benesseサイトマップ](#)

ベネッセ教育総合研究所

[総合トップ](#) | [研究者のかたへ](#) | [教員のかたへ](#) | [保護者のかたへ](#) | [メディアのかたへ](#)
新着記事&お知らせ | 引用・転載のお申し込み | メールマガジン | 所在地 | お問い合わせ | サイトマップ | English

[総合トップページ](#) | [調査・研究データ](#) | [教育情報](#) | **[研究所について](#)** | [オピニオン](#) | [特集](#) | [Q.サイト内検索](#)

TOP > 研究所について > グローバル教育研究室



英語

グローバル教育研究室

21世紀を生きるグローバルシズンとして求められる能力や、その能力を高めるために必要な学びや教育の課題を明らかにするために、実証的な調査・研究を行い、その成果を社会に発信します。

[研究室について](#)



ベネッセのオピニオン

第99回 英語4技能の育成を実現するために求められていることは - 「中高の英語指導に関する実態調査2015」の結果から -

福本 優美子

研究室トピックス

「中1後半に生徒をつまずかせないようにするために② - 過去形の導入前・指導の中でしたいこと」

グローバル教育研究室 室長 加藤由美子

<http://berd.benesse.jp/global/>